

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

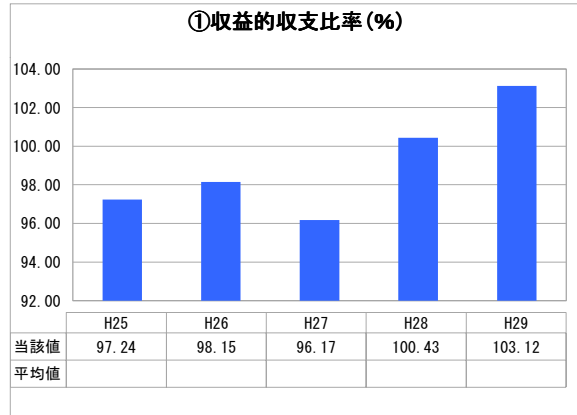
高知県 香美市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	39.64	96.91	2,376

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
26,407	537.86	49.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,452	2.30	4,544.35

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



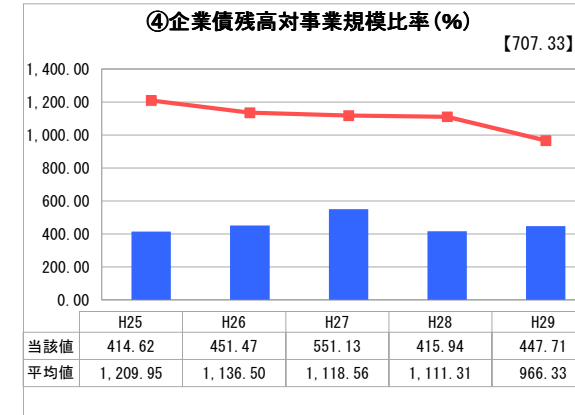
「単年度の収支」



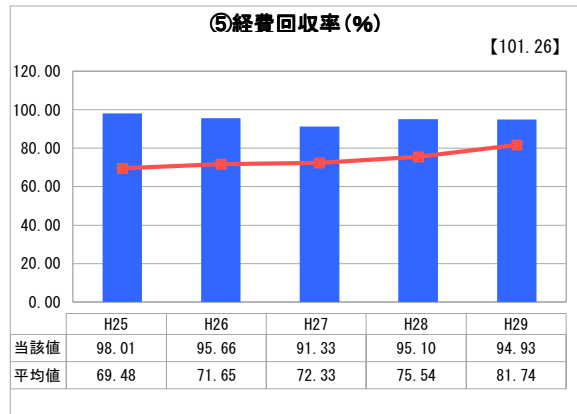
「累積欠損」



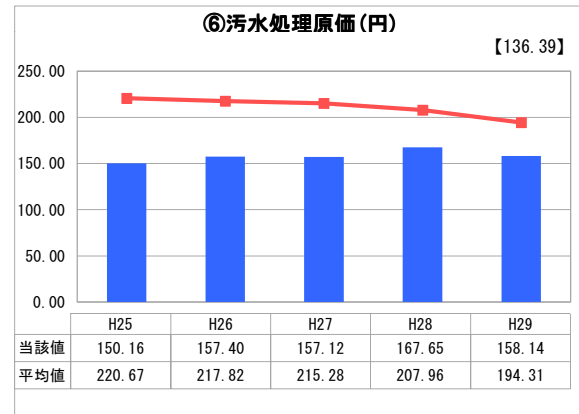
「支払能力」



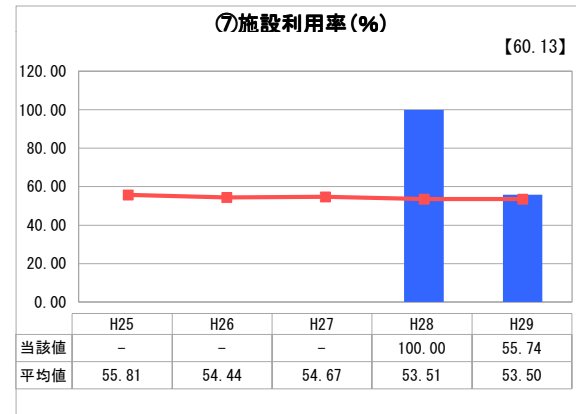
「債務残高」



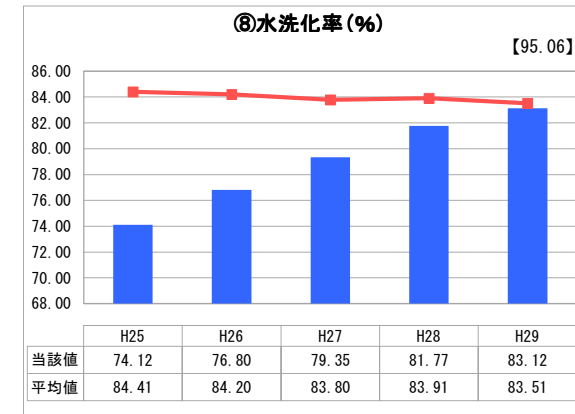
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

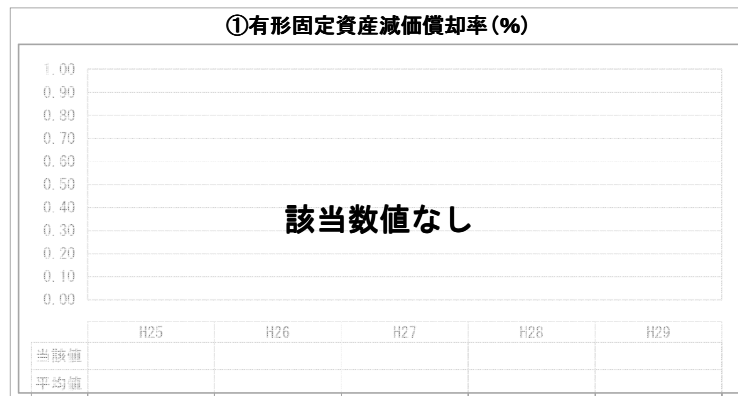


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

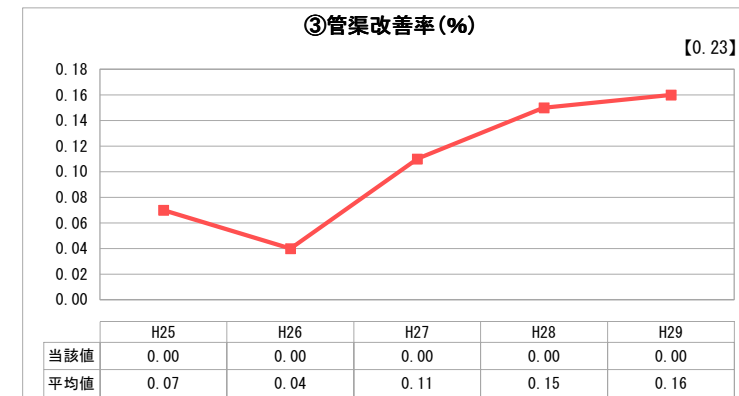
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

④企業債残高対事業規模比率については、地方債償還金は一般会計からの基準内繰入金も充てられているため、他の類似団体と比較して低い状況となっています。

⑤経費回収率は類似団体と比較して高い水準を維持しており、維持管理費用については下水道使用料収入で概ね賄えております。

⑥汚水処理原価は、県の流域下水道へ接続し、3市で処理場運営を行っていることから、単独で処理場を有する団体と比較すると、施設投資や維持管理費用が抑えられており、平均を下回っている状況です。

⑦施設利用率はグラフでは平成28年度の数値が100%となっていますが、計画処理能力が5,493m<sup>3</sup>/日に対する現在晴天時平均処理水量2,975m<sup>3</sup>/日は54.16%であり、それと比較すると平成29年度は、ほぼ横ばいとなっています。

⑧水洗化率についてもほぼ横ばいとなっており、類似団体と比較して低い状況です。整備区域についても、接続可能戸数の少ない市街化調整区域の整備へと移行していることから、大幅な接続率の向上は難しい見込みとなっております。

### 2. 老朽化の状況について

現状では管渠の耐用年数は超過していませんが、近年管渠周辺の路面陥没等の修繕が増加してきており、老朽化に対する対策が必要となっております。

現在、平成26年度に策定した下水道総合地震対策計画に基づき、管渠等の耐震診断を実施しております。また、平成30年度から平成31年度にストックマネジメント計画（維持管理計画）の策定を実施し、計画的に更新・維持管理を行っていく必要があります。

### 全体総括

現在、下水道使用料収入で維持管理費は概ね賄えているものの、修繕費などの維持管理費の増加や地震対策及び管渠の更新費用の確保が必要となっております。

今後、下水道総合地震対策計画に基づき実施している管渠の耐震診断や将来の管渠の更新に向けた財源の確保のため、維持管理費の節減及び水洗化率向上に一層取り組むとともに、下水道使用料の改定についても引き続き検討していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。